

【2025 年 11 月 14 日】
送付枚数 本票含め 1 枚

〒753-8511 山口市吉田1677-1
TEL : 083-933-5007
FAX : 083-933-5013
E-mail : sh011@yamaguchi-u.ac.jp

報道機関 各位

11/17「世界早産児デー」に合わせ、 山口大学病院をシンボルカラーの「紫色」にライトアップ

立冬の候、貴社におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、山口大学医学部附属病院(病院長:松永和人)は、11 月 17 日の「世界早産児デー(World Prematurity Day)」の趣旨に賛同し、早産についての課題や、早産児およびその家族への支援について広く知っていただくため、本院の建物の一部をシンボルカラーである「紫色(パープル)」にライトアップいたします。また、当日は、NICU・GCU のスタッフが紫色のマスクを着用して業務を行う予定です。

本院の総合周産期母子医療センターは、低出生体重児や早産児を含むハイリスクな新生児に対する高度な医療・ケアを 24 時間体制で提供しております。

このライトアップが、早産児とそのご家族が直面する課題への理解を深める一助となれればと考えております。

つきましては、当日の取材及び報道等について、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

「世界早産児デー」ライトアップ 概要

日時: 2025 年 11 月 17 日(月) 17:00 ~ 20:00

場所: 山口大学医学部附属病院 A 棟1階(宇部市南小串 1-1-1)

「世界早産児デー」について

11 月 17 日の世界早産児デーは、早く生まれた赤ちゃんたちとご家族が抱える課題や負担に対する意識を高めることを目的に制定されました。早産児のお母さんがドイツで立ち上げたヨーロッパ NICU 家族会(EFCNI)が、2008 年にキャンペーンを始め、世界中の家族会の協力でグローバルなムーブメントとして広がりました。

現在は、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、セーブ・ザ・チルドレン、国際新生児看護学会など多くの国際組織や学術団体、企業の賛同を得ており、日本からは新生児臨床研究ネットワーク、日本 NICU 家族会機構(JOIN)、日本新生児看護学会などが協賛しています。

この日に合わせて、世界各地でシンボルカラーである「紫色」のライトアップや関連イベントが実施されます。

【詳細は下記までお問い合わせください】
山口大学医学部総務課広報・国際係(西村)
〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1
TEL 0836-22-2009
Email me268@yamaguchi-u.ac.jp

発信者 国立大学法人山口大学総務企画部
総務課広報室
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL 083-933-5964
FAX 083-933-5013
E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp